《校訓》金剛石の光を発揮し まわりを照らせ

六中だより

平成３０年３月２２日
第２５号
文責
八代市立第六中学校
校長　杉田　明

学校教育目標：夢や目標に向かって、心磨き・体磨きを土台とし、自ら考え、学ぶ生徒の育成
スローガン　：「キラっと輝く六中　①一生懸命がかっこいい　②継続は力なり　」

「朝の読書」の取組について

本年度4月から「朝の読書」を始めました。①読書に親しみ、想像力（創造力）や理解力を身に付け、確かな学力・豊かな心を育むこと、②全校で一斉に行い、学級の落ち着いた雰囲気をつくり、授業にスムーズに取り組めるようにすること、③他の学習や生活面で生かせるような集中力や根気を身に付けること、を目標に一年間取り組んできました。3 年生は「読書が楽しい」と回答した生徒が 84%おり、1、2 年生の頃に比べると落ち着いた生活ができ、その成果が授業態度などに表れています。1，2年生は「読書が楽しい」と回答した生徒が 7 割満たない状況で、授業においても集中力、思考力の面で課題が見られました。「読書が楽しくない」と回答した生徒の中には、この 1 年間 1 冊も本を読んでいないと回答した生徒が 5 人(1 年2人、2 年 1 人、3 年 2 人)いました。

読書は、読解力、思考力、判断力を育てるだけでなく、集中力や根気強さを身に付けるのに効果があります。また、運動の集中力にもつながります。今の自分を成長させるためには、読書で脳を刺激し、発達させなければなりません。元リクルートの藤原和博氏は、「就職面接で日常的に読書をするか、しないかで半数が落とされる。」とまで言っておられます。来年度は、**読書冊数年間一人30冊以上**を目標に取り組んでほしいと思います。

図1

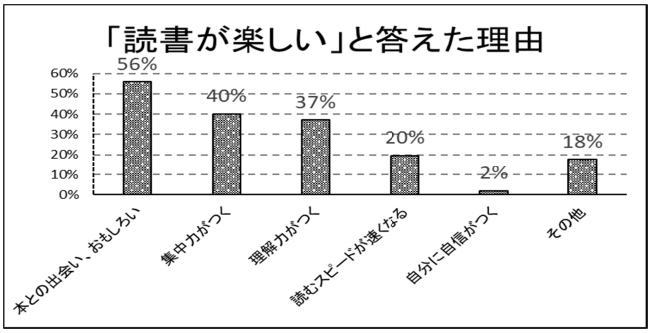
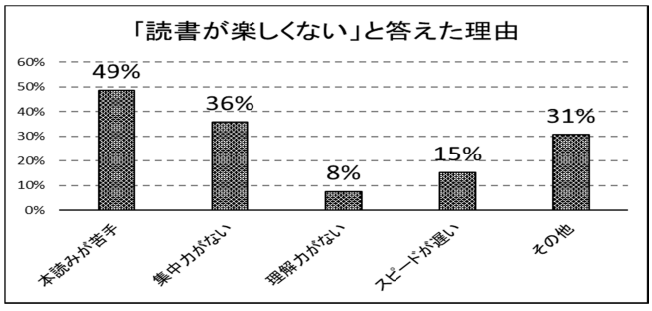
図2